

パレート最適

パレートの基準は、効用の測定に関する難問を解決せずに資源配分の最適性を判断する基準となるが、配分の公正性、公平性の判断する基準にはならない。

I. 資源配分の最適性基準

A. 資源配分の変更による「パレート改善」

1. 誰も悪くならない（効用が低くならない。）
2. 少なくとも一人が良くなる（効用が高くなる。）

B. パレート最適

1. パレート改善の余地がない。
2. 誰か一人を良くしようとする、他の誰かを悪くしなければならない。

II. 交換経済のパレート最適

A. 交換経済の意味

1. 生産は行われない。
2. 交換される財サービスとその量は定まっている。

B. パレート最適の資源配分 — エッジワースのボックス・ダイアグラム

1. 無差別曲線の接点
2. 契約曲線 (contract curve)

III. パレートの基準の特徴

A. 難問を回避

1. 効用の大きさを測ることができるか。
2. 異なる人の効用の大きさを共通の単位に換算できるか。

B. 弱い判断基準

1. 多数の最適配分
2. 公正、公平の判断不可

参考文献

教科書．第 8 章，第 I 節．